

## バディーSC

## 「先制し攻めた」

草サッカー男子 優勝

静岡市で開かれていた小学生サッカーの祭典、第37回全国少年少女草サッカー大会（朝日新聞社など主催、第二三共ヘルスケア協賛）は、男子の部の最終日の20日、バディーサッカー



優勝を決め喜ぶバディーサッカークラブの選手ら＝静岡市清水区、伊ヶ崎忍撮影

クラブ（横浜市）が決勝で東京のチームと対戦。4-0で下し、優勝した。

決勝では徳武魁選手（5年）がヘディングゴールで先制。その直後、安田浩陸選手（6年）がセンターリングをゴールに流し込み、追加点をあげた。安田選手はさらに2ゴールを決め、ハットトリックの活躍。守っても守備陣が相手のカウンターを何度も断ち切り、無失点に抑えた。

キャプテンの佐々木七星選手（6年）は「けがをした子と昨日熱を出した子の2人がこの試合に出られず、その分も含めてがんばった。先制して油断してはいけないともう1点取りにいき、どんどん攻めたことで4点までいけた」と話した。南雲伸幸監督は「攻守の切り替えがよくできて、決勝が一番よかった。選手たちが最後までよくやってくれた」と振り返った。ま

た大会の最優秀選手賞には、何度も攻撃の起点となり、守りにも貢献した田中讓選手（5年）が選ばれた。